

コスモピア

2025 夏
vol.120

社会福祉法人 秋桜会

〒716-1401 岡山県真庭市五名574-1

TEL 0866-52-4771 FAX 0866-52-4772

Eメール kosumosunosono@kosumosukai.jp

ホームページ kosumosukai.jp

障害者支援施設 コスモスの園

就労継続支援B型事業 コスモスワーク

共同生活援助事業 コスモス共同生活事業所

相談支援事業 サポートステーションコスモス

放課後児童健全育成事業 ほくぼう児童クラブ

コスモスの園 移転新築工事スタート



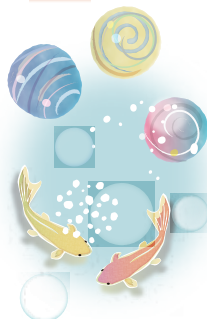
コスモスの園 移転新築工事起工式

折々の記

地域共生社会に向けて その十七

「これからの交流を考える」

社会福祉法人 秋桜会 理事長 奥田健治



コスモスの園 移転新築工事 スタート

梅雨明け宣言の6月27日午前、施工主(株)荒木組主催の、コスモス園移転新築工事起工式が、現地に於て厳粛かつ盛大に執り行われました。郡神社宮司豊田様による一連神事に続く「エイ、エイ、エイ」の鉦入れ行事、各代表者による玉串奉奠などが粛々と続けられ、施主・施工主の挨拶を経て参加者全員によるご神酒拝載並びに記念撮影で無事お開きとなりました。

手探りの日々でした

令和3年10月、真庭市から旧上水田小学校跡地の取得以降約4年半、この間設計業者との基本設計検討、県や国への社会福祉施設設置費国庫補助金申請、福祉医療機構への融資申請、指名競争入札方式による業者決定、そして入札による施工業者決定を経て起工式(鉦入れ式)まで、事務方を含めてすべて初めてのことであり、不安の連続。十数億に及ぶ建築事業への取り組みは未曾有のことで、加えて潤沢な資金に乏しく、経験を全く持ち合わせない者にとってすべてが手探りの長い日々でした。本当に皆様に感謝です。

地域のため、多様性が息づく 地域共生の施設でありたい

移設が決まった4年前、地元上水田地区での説明会の時、ある住民の方から「高齢者も入所できるような施設を建ててもらえませんか。」と、ご質問のようなご要望がありました。福祉サービスの違いはあるものの高齢化への対応はまさに喫緊の地域課題です。障害者も高齢者もさらに弱者や居場所がなく生きづらさを感じている方など、みんなが共に生活できるような施設ができるなら最善だと私も思っていました。また子育て世代の女性から「地域の子どもたちの遊べる遊園地も欲しいです。」との声も届いています。「いいですね。できるかなあ……」でも、今は余裕がなく……さらに「園庭のカフェコーナード朝のひとときを楽しめたなら……」とお年寄りのひとり言。「そばにコスモスワーク製品のもち麦クッキーがあればいいですね。」と私もひとり言。話は広がります。市井では多様性が社会形成のコンセプトだから、福祉施設はその先達が期待されます。地域共生社会では、同じ場所でも共にかかわり合える施設が望まれるのですが、今の施設補助の仕組みで建築はままなりません。出来上がった施設で、多様な人々がいつでも自由に開き合う仕掛けを考えることは可能です。これがコスモスの園に課せられた大事な命題です。

まず、施設での暮らしの 見える化(知ってもらう)から

現在は井尾地域の方と天神様夏祭りや秋祭り、とんど行事などささやかですが、温かい住民のまなざしに包まれて、GHや園の利用者は気持ちよく参加しています。しかし地域の皆様には、実際のところ施設での暮らし方や職員のかかわり方は見えていません。これの見える化から始める必要があります。新たな地区での定期的な情報交換が望まれます。近隣の他地区の方々とかかわりについてもできる限り進める努力をして、共に地域を盛り上げる仕組みづくりを考えたいものです。



秋桜会 理事長 奥田健治様



郡神社宮司 豊田正美様



(株)荒木組 代表取締役社長 荒木雷太様



(株)木村設計 代表取締役 高田聖次様

社会福祉法人秋桜会 令和6年度事業報告

今年度は、法人設立30年という大きな節目を迎えた。9月には、記念式典を盛況のうちに執り行い、30年の歩みをまとめた記念誌「胸を張って」を後援会ご協力のもと発刊した。

また、社会福祉充実計画「コスモスの園移転建て替え事業」は、令和6年度の国庫補助金が決定し、当初の計画より一年早く進捗する見込みとなった。令和7年度の完成に向け、移転建築に関する具体的な協議を関係各所と進めた。

地域貢献活動は、引き続き無料買物送迎サービスに取り組み、計画とおりに運行することができた。

財務状況は、本部拠点区分では、計画相談事業職員を昨年度に引き続き配置したことに対応件数も増え事業収益も増えた。児童クラブ利用児童数の減少により事業収入が減った。コスモスの園拠点区分並びにコスモスワーク



記念誌が繋ぐ30年

今年度は、法人設立30年という大きな節目を迎えた。9月には、記念式典を盛況のうちに執り行い、30年の歩みをまとめた記念誌「胸を張って」を後援会ご協力のもと発刊した。

また、社会福祉充実計画「コスモスの園移転建て替え事業」は、令和6年度の国庫補助金が決定し、当初の計画より一年早く進捗する見込みとなった。令和7年度の完成

コスモスの園

障害者支援事業

(施設入所、生活介護)

令和6年度は障害福祉サービス等報酬改定がなされ、生活介護利用の実態については障害者支援区分ごと及びサービス提供時間別に設定され、それぞれに応じた基本報酬の設定がなされた。生活介護利用者は定員の54名が利用した。強度行動障害を有する方への支援体制の強化も図り、条件を満たしたサービスを実施することで加算報酬が増額した。

支援では改めて利用者の意思決定支援が推進され、個別支援計画作成等では本人参加の会議の実施を進め、本人の意思等を改めて確認した。

感染症については6月の溶連菌感染、12月末よりインフルエンザ感染、2月末より新型コロナウイルス感染症が集団発生した。その中でも家族・地域との関わりは感染症に配慮しながらほぼ年間行事計画に従った取り組みが行え、一定の交流が図れてきた。障害者虐待防止・権利擁護の更なる推進のため、虐待防止部会において支援の内容を検討し、より利用者の方の生活満足度が上がるように努めてきた。

医療面では通院数は昨年度よりも全体で88件増加した。転倒件数も増え骨折に至るケースも増えた。また、肺炎による入院者も昨年度より増え、利用者の高齢化・重度化が深刻になってきている。原因の究明や対応策を検討するため、事故発生防止委員会を設置した。

防災については、自然災害発生時における業務継続計画の訓練また、通常の避難訓練を実施した。

在宅支援事業

(短期入所、日中一時支援)

利用される方の家庭状況に合った支援を行うため、生活介護と日中一時・短期入所を併用して利用される方がおられた。短期入所の利用者数は計5名で、内緊急の受け入れ者はいなかった。延べ利用日数は314日となっている。

日中一時支援については6名の方の利用があり、延べ利用日数は168日となっている。

コスモスワーク

(就労継続支援B型事業)

今年度も、利用者の高齢化、障害の重度化により個々の心身状況に応じた生産活動の提供に配慮してきた。各事業においては、農業生産は木質ペレット袋詰め、園芸作業とベットの検品・箱詰め、草取り・草刈除等の請負に組み込んだ。製品加工は継続して園芸作業とベットの検品・箱詰め及びフルーツキャップの請負に取り組んだ。食品加工は焼き菓子の学校給食等への販売、岡山県セルプセンターのいちおし商品販売への参加等を行った。



また、コスモス祭り等のイベント販売や市役所等の訪問販売にも力を入れた。

生産活動以外では、引き続き4月の花見、12月の忘年会、2月のボウリング大会、4月と10月の家族会を実施した。

引き続き、新型コロナウイルス感染症等の感染対策を実施し、感染の発生はなかった。

就労活動による収入は前年度比で2.6%増となったが、支出が9.7%増となり、工賃は1,973円減額となっている。



コスモス共同生活事業所 (共同生活援助事業)

引き続き、新型コロナウイルス感染症等の感染対策を実施し、感染者が出たものの、大事には至っていない。また、余暇の充実を図るため、感染状況にも配慮しながら買物などの外出等の活動を進めてきた。通院支援においては、通院回数は前年度より耳鼻科が減る一方で、内科・歯科が増えている。また、入院はなかった。

今年度も利用者の高齢化や障害特性からくるニーズを職員間で話し合い、状況に応じた支援が行うように努めてきた。また、地域の行事にも積極的に参加するようにし、地域移行をさらに進めるため5月にサ

テライト型住居を開設し自立に向けて支援を行っている。

男性利用者2名が他ホームや自立生活への移行により年度途中で退所されたが、2月にコスモスの園から1名グループホーム息吹に移行されている。



サポートステーションコスモス (計画相談支援事業／障害児相談支援事業)

令和6年度も職員の異動があつたが、新しい職員も10月には相談支援専門員の資格を取得し、相談支援体制や質の充実を図ることができ、毎月一定数の新規の利用者の方の受け入れを行った。登録利用者数については転居や地域移行、一般就労へ進まれる方が増え福祉サービスの利用が終結となる方が多かつたが、サービスの利用終了の方と新規支援を開始した方の差し引きで10名の増となっている。

障害福祉サービスの利用だけではなく、生活面全般に支援を多く要すケースも増えており、日常生活の細やかな支援を関係機関と連携を図りながら行っている。その中でも社会参加に繋がる方やステップアップ

に繋がる方も増えてきており、幅広い視点でのアプローチやご本人像の理解、気持ちに寄り添った支援の必要性を感じている。また入所施設の利用者の方の地域移行の実践も、体験利用などを繰り返し行いながらご本人の意思決定支援を丁寧に行い、地域移行が実現した方もおられる。今後も利用者一人ひとりの思いを汲みながら、希望する生活に向けての見通しが持てる様、選択肢の提示や体験の機会を持つなどの支援を行ってきたい。

ほくほう児童クラブ (放課後児童健全育成事業)

令和6年度利用児童は、常時利用11名、一時利用33名、計44名の登録となった。常時利用が年々減少傾向にある。一日平均の利用児童数11.6人であった。利用児童の減少に伴い、平日は4人体制から3人体制の支援員を配置に変更した。長期休業中は利用児童が増える為、4人体制の支援員配置を行った。

児童支援では、低学年の利用が多く、成長過程にあつた遊びの提供や、異年齢の児童と一緒に遊べる環境設定をおこなった。また、課題のある児童に対し小学校と連携して、情報共有を行うことで児童本人も落ち着いて放課後を過ごすことはでき、保護者の方には安心して仕事ができるよう支援した。

コスモスおでかけ便 (地域貢献活動)

地域貢献活動として、ご自宅からマルナカ北房店までの乗り合い式での完全無料での送迎サービスを継続運行している。悪天候等もなく今年度も計画通りに運行することができた。今年度新規利用の方は6名、転居等で利用ができなく退会された方は4名となり年度末時点の会員数は12名となっている。今年度は、148便運行し、利用延べ人数は464人、一便あたりの平均乗車数は、約3.1人(昨年度とはほぼ同じ)となっている。

法人単位貸借対照表

令和7年3月31日現在

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	596,223,846	499,977,594	96,246,252	流動負債	18,672,360	13,952,402	4,719,958
現金・預金	536,237,322	449,516,199	86,721,123	事業未払金	12,839,275	3,758,787	9,080,488
事業未収金	58,992,081	49,750,032	9,242,049	その他の未払金	1,086,624	1,524,039	-437,415
未 収 金	948,243	675,838	272,405	一年以内返済予定リース債務	0	0	0
商品・製品	46,200	35,525	10,675	未払費用	2,361,173	4,447,599	-2,086,426
固定資産	657,792,420	663,118,610	-5,326,190	職員預り金	2,385,288	4,221,977	-1,836,689
(基本財産)	293,813,254	301,490,122	-7,676,868	固定負債	39,680,090	38,220,918	1,459,172
土 地	146,701,290	146,701,290	0	設備資金借入金	0	0	0
建 物	147,111,964	154,788,832	-7,676,868	リース債務	0	0	0
(その他の固定資産)	363,979,166	361,628,488	2,350,678	退職給付引当金	39,680,090	38,220,918	1,459,172
土地	42,274,000	42,274,000	0	その他の固定負債	0	0	0
建 物	1	1	0	負債の部合計	58,352,450	52,173,320	6,179,130
構 築 物	4,739,710	4,572,383	167,327	純 資 産 の 部			
機械及び装置	16,912,778	18,614,613	-1,701,835	基 本 金	257,341,000	257,341,000	0
車輛運搬具	497,874	1,344,934	-847,060	国庫補助金等特別積立金	102,479,985	108,513,546	-6,033,561
器具及び備品	3,632,651	3,863,911	-231,260	その他の積立金	249,510,000	250,570,000	-1,060,000
建設仮勘定	1,513,600	1,007,600	506,000	次期繰越活動収支差額	586,332,831	494,498,338	91,834,493
権利	800,128	800,128	0	(うち当期繰越活動収支差額)	90,774,493	7,374,344	83,400,149
ソフトウェア	4,418,334	360,000	4,058,334	純資産の部合計	1,195,663,816	1,110,922,884	84,740,932
退職給付引当資産	39,680,090	38,220,918	1,459,172				
積立資産	249,510,000	250,570,000	-1,060,000				
その他の固定資産	0	0	0				
資産の部合計	1,254,016,266	1,163,096,204	90,920,062	負債及び純資産の部合計	1,254,016,266	1,163,096,204	90,920,062

法人単位資金収支計算書

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

勘 定 科 目		決 算
事業活動による収支	収入	
	児童福祉事業収入	9,201,870
	就労支援事業収入	8,419,524
	障害福祉サービス等事業費収入	404,226,455
	経常経費補助金収入	1,182,000
	経常経費寄付金収入	10,000
	受取利息配当金収入	9,054
	その他の収入	4,370,809
	事業活動収入計(1)	427,419,712
	支出	
事業活動による収支	人件費支出	263,201,878
	事業費支出	42,229,068
	事務費支出	10,760,570
	就労支援事業支出	7,849,254
	その他の支出	2,750,000
	事業活動支出計(2)	326,790,770
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	100,628,942
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等収入計(4)	0
	支出	
	固定資産取得支出	8,193,831
その他の活動による収支	その他の施設整備等による支出	506,000
	施設整備等支出計(5)	8,699,831
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-8,699,831
	収入	
その他の活動による収支	積立資産取崩収入	3,117,581
	その他の活動収入計(7)	3,117,581
	支出	
	積立資産支出	3,516,753
その他の活動による収支	その他の活動による支出	14,320
	その他の活動支出計(8)	3,531,073
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-413,492
	予備費(10)	0
当期資金収支差額合計		91,515,619
(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		
前期末支払資金残高(12)		485,989,667
当期末支払資金残高(11)+(12)		577,505,286

法人単位事業活動計算書

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

勘 定 科 目		決 算
サービス活動増減の部	収入	
	児童福祉事業収益	9,201,870
	就労支援事業収益	8,419,524
	障害福祉サービス事業収益	404,226,455
	経常経費補助金収益	1,182,000
	経常経費寄付金収益	10,000
	サービス活動収益計(1)	423,039,849
	費用	
	人件費	264,661,050
	事業費	42,229,068
サービス活動増減の部	事務費	10,760,570
	就労支援事業費用	8,419,524
	減価償却費	13,186,101
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-5,735,414
	サービス活動費用計(2)	333,520,899
	サービス活動収支差額(3)=(1)-(2)	89,518,950
サービス活動外増減の部	収入	
	受取利息配当金収益	9,054
	その他の活動による収益	4,370,809
	サービス活動外収益計(4)	4,379,863
サービス活動外増減の部	費用	
	その他のサービス活動外費用	2,750,000
	その他の活動による費用	14,320
	サービス活動外費用計(5)	2,764,320
特別増減の部	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,615,543
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	91,134,493
	特別収益計(8)	0
	費用	
特別増減の部	固定資産売却損・処分損	360,000
	特別費用計(9)	360,000
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	-360,000
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	90,774,493
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	494,498,338
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	585,272,831
	その他の積立金取崩額(15)	1,060,000
	次期繰越活動増減差額(13)+(14)+(15)-(16)	586,332,831

コスモスの園

コスモスの園でお花見を行いました。

4月4日(金)恒例となっているお花見を園内で実施しました。残念ながら満開の桜とはいきませんでしたが、天候に恵まれ楽しい時間を過ごせています。花見では具沢山なお弁当とケーキやジュース、シュークリームを食べべられ「おいしい」との感想を皆さま

ん言われていました。午後からは余興として室内でカラオケや映画鑑賞も行い、満開の笑顔が見られました。



コスモスワーク(就労継続支援B型事業)



新しい作物にチャレンジ!!

高齢化が進む昨今ですが、コスモスワークの利用者さんも高齢化が進んでおり、体力の要る作業がだんだん難しくなっています。ここ数年の猛暑続きにより一層室内での作業が厳しくなっており、今年度は長年栽培していた黒大豆の栽培をやめ、利用者さんの負担が少ないと思われるサツマイモを栽培することにしました。

収穫できたら、近くの特産品販売所他、ぶり市で焼き芋や、スイーツに加工販売とする計画をしています。



コスモス共同生活事業所 (共同生活援助事業)



パンケーキを焼いたよ!!



グループホームでは、休みの日に時々おやつ作りをしています。支援者が手伝いながら、利用者さんが自分たちが食べたいものを作って食べています。

五月下旬、グループホーム息吹でパンケーキを作りました。女性利用者のホームではよくおやつを作りますが、男性利用者の息吹ホームでは珍しいことです。支援者に教えてもらいながら、生地をフライパンで焼いて、果物や生クリームで盛り付けをして、パンケーキができました。

「美味しいね」「上手に焼けたね」と言いながら、皆さんパクパクと食べておられました。



皆でお弁当



桜が満開!

ほくぽろ児童クラブ



北房生活交流グループ様と交流



北房生活グループの方からプレゼント



鐘つき



ポケモンバトル☆



ブランコ楽しい



お散歩



ままごと

地域貢献活動

無料

コスモスおでかけ便 運行中



北房地区の方で、買い物等で交通の便が悪くお困りの方を対象に、定期便として『自宅～マルナカ北房店間』の買物等の送迎サービスを運行しています。ご利用にあたっては事前に会員登録が必要です。
詳しくは、コスモスおでかけ便事務局までお問合せください。(☎52-4771)

職員募集



秋桜会では、入所の施設をはじめ、通所の作業所グループホーム、放課後児童クラブ等の運営をしています。各事業所の利用者の生活・日中活動の支援及び介護等を行う職員を随時募集しています。お気軽にお問合せください。
詳しくは、求人担当(天野)までお問合せください。
(0866-5214771)

新たに地域貢献活動を始めます

不要になった物を後輩に使ってもらう活動です

サイズアウトした北房小学校の制服や体操服、体育館シューズはありませんか？

使わなくなった算数セット、鍵盤ハーモニカが家に眠っている…

ぼくぼう児童クラブへお持ちください！！

次に使ってくれる方にお譲りします。

譲れる物がある、譲ってほしいものがある方、下記の時間に児童クラブへお越しください。

受付 月曜～金曜日 14:00～17:30

お問い合わせ先

ぼくぼう児童クラブ 0866-52-4200 担当:嶋田

制服・体操服 学用品 リサイクル

寄付して
ください！



集めるもの

- ・制服
- ・体操服
- ・算数セット
- ・鍵盤ハーモニカ
- ・体育館シューズ

編集後記

いつもコスモピアをご愛読ありがとうございます。気温の変化が激しく、体調管理に努めながら支援を行っています。この度、夏号より編集担当が入れ替えとなりました。引き続き楽しんでいただけるように努力いたしますので今後ともご愛読よろしくおねがいします。

新編集者(岸本、鉾、大内)

インスタグラム、ホームページで当法人の様子を公開！施設の日常風景を写真で紹介します。
皆様のフォローや「いいね！」をお待ちしています！



秋桜会
ホームページ



KOSMOSUKAI.HARE
インスタグラム

Quiz

前回の正解は「グループホーム息吹」でした。当選された方に過日景品としてコスモスフークの授産品(クッキーセット)を送っています。
はがきに答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、コスモピアの感想を書き、〒716-11401真庭市五名574-11 社会福祉法人秋桜会「コスモピアクイズ」係へ。正解者の中から5名に景品を贈ります。(締め切り8月末)

【問】コスモスの園、新施設の建設がスタートします。建設場所は、どこでしょうか？
【ヒント】〇〇小学校跡地

